

授業情報			
開講年度	2024年度	開講箇所	大学院教育学研究科
科目名	数学科教育特論IV-2		
担当教員	高木 悟		
学期曜日時限	秋学期 01:金6時限		
科目区分	選択・数学科教育特論	配当年次	1年以上 単位数 2
使用教室		キャンパス	早稲田
科目キー	371E220008	科目クラスコード	01
授業で使用する言語	日本語		
授業方法区分	【対面】ハイブリッド(対面回数半数以上)		
コース・コード	EDUX681L		
大分野名称	教育学		
中分野名称	教育学		
小分野名称	その他		
レベル	修士レベル	授業形態	講義

シラバス情報					
授業概要	春学期の「数学科教育特論IV-1」に続き、ラフ集合理論について輪講形式で授業を行なう。 対面(zoom中継あり)とオンライン(zoomのリアルタイム形式/waseda moodle のオンデマンド形式)を併用する。				
授業の到達目標	ラフ集合理論の基礎を理解する。				
事前・事後学習の内容	毎回セミナー形式で行なう。セミナーで発表するための準備に90分程度を要する。				
授業計画	#1. ガイダンス・イントロダクション・発表担当決め #2～#14. ラフ集合理論輪講				
教科書	「ラフ集合と感性」 森典彦他著 海文堂出版				
参考文献	「Rough Sets: Theoretical Aspects Of Reasoning About Data」 Z. Pawlak著 Springer				
成績評価方法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>割合</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>平常点評価: 100% 発表・発表の準備・質疑など授業への参加度合いで評価する。</td> </tr> </tbody> </table>	割合	評価基準		平常点評価: 100% 発表・発表の準備・質疑など授業への参加度合いで評価する。
割合	評価基準				
	平常点評価: 100% 発表・発表の準備・質疑など授業への参加度合いで評価する。				
備考・関連URL	春学期科目「数学科教育特論IV-1」の続きになるので、まず「数学科教育特論IV-1」を履修してください。				